

第4期 (2011)
Student Campus President
活動報告



第 4 期（2011） Student Campus President 活動報告

○ 総 括

I	食堂改善プロジェクト	1
II	「薬物乱用防止キャンペーン」への参加	2
III	「薬物乱用について」の中学校での講演	3
IV	「とうべつ Brandeli 認証委員会」への参加	4
V	大学間交流	5
VI	キャンパスカンファレンス（学生交流イベント）	7
VII	新入生歓迎イベント	9
VIII	平成 24 年度チャリティーバザー	10
IX	学生との意見交換(掲示板)	12

○ 第 4 期（2011） Student Campus President 月別活動一覧



北海道医療大学

SCP 学生キャンパス副学長

Student Campus President
Health Sciences University of Hokkaido

○ 総括

第4期 SCP は「SCP の存在を学内・学外により広め、学内・学外との交流の場を増やす」ことをテーマとし、さらに SCP の基盤である「より良い大学づくり」の双方を目指し活動してきた。

今季実施したプロジェクトおよび活動については以下の通りである。

【初代、第2期および第3期 SCP からの継続業務】

- ・ 食堂改善
- ・ 禁止薬物乱用防止対策
- ・ 地域交流プロジェクト
- ・ オープンキャンパス、卒業式、入学式、九十九祭などへの参加
- ・ SCP 掲示板、SCP ホームページによる活動報告
- ・ 東北地方太平洋沖地震被災者のための震災活動
- ・ 新入生応援活動
- ・ 他大学学生とのつながり
- ・ SCP サポーター募集
- ・ 九十九祭でのイベント実施

【今期より立ち上げたプロジェクト】

- ・ キャンパスカンファレンス
- ・ 新入生歓迎イベント
- ・ チャリティーバザー
- ・ 学生との意見交換(掲示板)

今期は昨年度までよりも会議の回数を大幅に増やし第4期 SCP 内でよく話し合いプロジェクトに取り掛かった。

成果を得られたプロジェクトは、学生支援課や学生サポーターおよび先代 SCP から協力によりアドバイスをもらったり、上手く連携できたりしたことで実現したと感じた。また、今期 SCP は4人揃ってでの話し合いを去年よりも多く設けたことで活発な意見交換が行えたこと、情報をお互いに共有し協力しあえたことが成果につながったと思える。

対してプロジェクトままならなかった事案については、SCP サポーターが集まらなかったこと、例年と同様に学業と同時に複数のプロジェクトを進行させることに加え今期は4人中3人が部活動をしていたのでそれらとの同時進行が難しく、1年間という短い期間では当初の目的に到達することが困難だった。

今後 SCP が更なる発展を遂げるためには、活動の引き継ぎ、特に今期から立ち上げたキャンパスカンファレンスの引き継ぎをきちんと行うことで SCP の認知度をより多くの学生に知ってもらい、学内外での認知度の上昇が必要になると考えられる。また、歴代の SCP によるバックアップが必要だと考えられる。

【第4期（2011）SCPについて】

A) 構成員

薬学部	2年	坂田	紫帆
歯学部	2年	清水	綾
看護福祉学部	2年	佐藤	陽
心理科学部	2年	上山	智美



B) SCP 会議

開催：適宜行った

目的：プロジェクトの立案・企画

各プロジェクトの進行状況把握・報告・意見交換など

出席者：第4期 SCP、歴代 SCP、学生支援課職員、SCP サポーターなど

C) 反省点

昨年よりも会議の回数を増やしたのだが、4人揃って会議をしようとするとなかなかスケジュールが合わずプロジェクトの進行に影響したと考えられる。

また、アルバイトやサークル・部活動、テスト勉強などにより思うように SCP 内での連携が取れないこともあった。

D) 改善策

4人全員が揃わなくても3人以上の日程が合えば会議を開催し話し合いを進め、出れなかった人に会議の内容を教えていくのが良いと思う。

また、スケジュールが決まりしだい全員に教えスケジュール把握をしたら良いと思う。

食堂改善プロジェクト

【実施内容】

あいの里食堂において、定期的に新メニューの提供、各種フェアの開催、PR 活動を行い、利用者の新規開拓および従来の利用者がより満足してもらえることを目指した。

【反省点】

今期のプロジェクトでは食堂業者の協力により、提供メニューに多種多様なバリエーションを持たせることができた。また、厨房内にオープンを導入したため、今後さらに提供可能なメニューの幅が広がると考えられる。提供した新メニューに対する意見のアンケートを取るなど、利用者の声を集めそれらを食堂業者側にフィードバックすることができれば更に利用者の満足度を向上させることができたのではないかと考える。

しかし、プロジェクト始動日から意見の上がっていた価格の高さについては効果的な打開策を打ち出すことができなかった。新メニューやフェアメニューにおいても価格設定が高く（1食500円前後）、フェア自体に興味を持っても注文に至らないケースが多かった。原価面で価格設定に限界はあるものの、次期ではハーフメニューなど提供の仕方に工夫を持たせることで対応を考えたい。

また、チラシ等における PR 活動が食堂周辺に限局されていたため、利用者の新規開拓にはあまり結び付かなかった。これには、SCP と食堂業者との情報共有が円滑に行われていなかったため、PR 活動に SCP が十分に関与することができなかったことも関係する。効果的な広報活動や利用状況等の情報共有のためにも、食堂業者と綿密な打ち合わせを重ね理解を深めておくことが重要であったと感じている。

そして、食堂内に設置している意見交換ボードは、利用者と食堂職員との距離を縮めることを目的に設置されたが、今回のプロジェクトを機に両者の距離が縮まりつつあるため、撤去することを検討している。

今期の食堂改善プロジェクトでは、従来の食堂利用者の満足度の向上という目的は達成できたが、食堂利用者の増加という面においては十分な結果は得られなかった。今後は、食堂業者との連携を密にし、利用者の声を反映させた食堂づくりを目指していきたい。

「薬物乱用防止キャンペーン」への参加について

【イベントの概要】

「第 6 回薬物乱用防止キャンペーン」

主 催：(社)札幌薬剤師会，AIR-G'

日 時：2012 年 3 月 11 日（日）

会 場：札幌ファクトリー アトリウム ステージ ステージ周辺

担 当：第 4 期薬学部 SCP

参加者：第 1 期薬学部 SCP，第 2 期薬学部 SCP，第 3 期薬学部・
看護福祉学部 SCP，第 4 期 SCP 全員

【内容】

薬物乱用についてとアロマセラピーについて、パネル展示とステージ発表。

【成果】

薬物乱用の危険性に加え、薬物という方法ではなくアロマなどを使った心身のリラックス効果を紹介し、実際に触れてもらうことで、多くの方に興味を持ってもらうことができた。また、SCP の周知活動にもつながった。

＜その他の薬物乱用防止の啓発活動＞

目 的：ラジオによる薬物乱用防止の呼びかけ

担 当：第 4 期薬学部 SCP

結 果：若者に人気のラジオ番組の間に流していたり、また 3 月 11 日のイベントの会場でも流していただき、たくさんの方の耳に触れる機会があり、禁止薬物使用の危険の啓発になった。

自己評価：今回は、歴代の SCP の先輩方にたくさん手伝っていただき、また第 4 期も事前に薬物乱用についての基礎知識をつけてイベントに参加することができ、それなりに準備できた点はよかった。しかし、本学の学生のイベントへの参加が見受けられなかったのは、周知が充分ではなかったようで残念である。またステージ発表の内容も、もう少し事前にしっかりと準備できたらより良いものにできただろう。次期 SCP で参加するときはこの反省点を活かして欲しいと思う。

「薬物乱用について」の中学校での講演

【目 的】

現役の薬学生の視点から薬物乱用について講演することにより、学生のみなさんによりわかりやすく、そして薬物乱用の危険性についてより身近に深く感じてもらう機会とする。

担 当：第4期 SCP（薬学部）

日 時：2012年7月20日（金）

場 所：北海道教育大学附属旭川中学校

内 容：くすりの正しい飲み方と違法薬物・薬物乱用について

成 果：クイズなどを織り交ぜて講演したことにより、少しか興味を持って聞いてもらえたように思う。また、意外と知られていないくすりの正しい飲み方について話すことで、くすりについて見直す機会にできたと思う。また、薬学部の周知活動にもつながった。

自己評価：自分の母校ということもあり、より一層真剣に取り組むことが

できたと思う。大勢の前で話すというのは初めての経験でとても緊張したし、テスト期間ということもあり決して満足のいくではなかったが、個人的にとってもよい経験をさせていただいた。

今後続けていくのであれば、要望を頂く前に何かいつでも話せる内容を作っておくと、負担にならずよいと思われる。

内容に関していえば、くすりの正しい飲み方については中学校の保健体育で少し触れるようなので、もう少し深く違法薬物について話してもよかったのかなと思う。



「とうべつ Brandeli 認証委員会」への参加

メイン担当：第三期薬 SCP、看護福祉 SCP

【概要】

当別町で生産された農産畜物を主原料として製造された加工食品を「とうべつ Brandeli」としてブランド化することで、地産地消の推進と当別町の活性化を目的とした当別町のプロジェクトへ参加した。

【活動】

- ・当別町長より認証委員への任命
- ・認証委員会に申請者より出品された加工食品の審査、認定を行った。
- ・本学にて11月17日に行われた大学とのブランド商品共同開発を試みたプレセミナーへの告知活動およびイベント参加を行った。
- ・12月10日に当別ふれあい倉庫にて行われたイベントへ参加し、学生の視点から意見を町民へ発信した。
- ・4月上旬に行われた東日本大震災支援チャリティーにおいて後援として本ブランド商品を寄贈していただき、本を購入された中から抽選で当たった方にプレゼントし、広報活動を行った。

【成果】

会議日程が平日日中ということもあり、当別町の新産業活性化センターの方には別途対応してもらうなど、時間的に厳しい面が多々あった。

しかし、町民の方との貴重な交流を得る場に参加できたため、その後のイベント(あそ雪祭りやチャリティーバザー)にて人脈を活かすことができたと思う。

こうした学外との交流は多感な時期における大学生において非常に成長できる場であり、こうした活動が認められていくことが北海道医療大学のブランド力向上にもつながると考えられるため、今後も後任に引き継いでいき、ぜひとも続けていきたいと思う。

【実施内容】

SCP 活動並びに本学における学生活動の充実化を目的として、他大学で行われている学生 FD イベント等に参加し、他大学の学生と交流を深め活動内容についての情報交換を行った。

※学生 FD 活動とは、本来教職員を中心として行われてきた FD (Faculty Development) 活動に学生が参画し、学生の意見を取り入れた授業改革を行っていく活動のことである。近年では、学生が主体となって教職学が三位一体となった大学づくりを目指す活動全体のことを学生 FD 活動と称することが多い。

【参加イベント】

- ・ FD ネットワークつばさ・学生 FD 会議（山形大学） 2011 年 9 月
参加者：第 3 期薬 SCP 森、第 4 期心理 SCP 上山
- ・ 第 1 回 054time！！（札幌大学） 2012 年 2 月
参加者：第 3 期薬 SCP 森、第 4 期薬 SCP 坂田、第 4 期福祉 SCP 佐藤、
第 4 期心理 SCP 上山
- ・ 学生 FD サミット 2011・冬（追手門学院大学） 2012 年 2 月
参加者：第 4 期心理 SCP 上山
- ・ FD ネットワークつばさ・学生 FD 会議（札幌大学） 2012 年 8 月
参加者：第 4 期薬 SCP 坂田、第 4 期心理 SCP 上山、第 5 期薬 SCP 小野
寺、第 5 期福祉 SCP 下房地、第 5 期心理 SCP 内村、
- ・ 学生 FD サミット 2012・夏（立命館大学） 2012 年 8 月
参加者：第 4 期 SCP 上山、第 5 期心理 SCP 内村

【反省点】

他大学の大学改善運動の取り組みを知ることにより、SCP 活動に活かすことのできるアイデアが生まれた。キャンパスカンファレンスが代表例である。また、他学生の学生との交流により「北海道医療大学」の特色を客観的に捉えることができた。しかし、カリキュラム上時間的な余裕がないことや、授業改善への関心の低さなどから、医療系大学において学生 FD に取り組んでいる大学は少なかった。

今後、医療系大学だからこそできる学生 FD 活動を追求することで、学生が主体となって大学づくりを行うことができる大学として、他の医療系大学との差別化を図ることができるのではないかと考える。

キャンパスカンファレンス（学生交流イベント）

【実施内容】

学生生活をより良いものにすべく学生が自らの意見を発信できる場を提供する。また、学業とは異なる視点から学びを深めることにより、自ら気づき成長できる機会となることを目指したイベントである。

教職学の垣根を越えた交流や他大学の学生との交流など、普段の学生生活の中では関わることはできない人と交流することができることも本イベントの特徴である。

【開催記録】

・第1回 2012年6月5日 16:00～18:00

テーマ「医療大の今とこれからを語ろう ～医療大 now&will!～」

参加者：10人（学生6名、教員1名、SCP3名）

内 容：本学に抱いている思いを参加者同士で語り合い、学生からみた本学の現状をまとめた大学カルテを作成した。

・第2回 2012年6月17日 10:00～17:00

テーマ「よりよい大学生活のすすめ」

①大学に抱いていたイメージと入学後のギャップ

②学生生活を充実させるためのアイデア

参加者：20人（岡山大学1人、小樽商科大学3人、札幌大学1人、札幌学院大学1人、北海道情報大学3人、北海道薬科大学2人、第3期SCP2名、第4期SCP4名、本学教員3名）

内 容：グループ毎に大学チェックリスト10項目を作成し、そのチェックリストを用いて自分自身の大学について10点満点で採点し、最も低い項目を改善するプロジェクトを考え、企画書をまとめるというグループワークを行った。

【反省点】

今まで、大学全体を対象とする学生交流の機会はなく、学生交流イベントの開催を望む声は多く聞かれていたが、実際に開催されるまでには至らなかった。しかし、今回のイベントの開催により、他学部間の学生や教員と交流を深めてもらうことができた。また、第2回では他大学の学生や教職員に参加してもらうことで、より広く交流を持ってもらうことができた。

そして、グループワークを通してまとめられたアイディアはどれも学生の「生の声」であったため、明確化することが難しかった学生のニーズを把握することができた。

過去2回の共通の反省点として、参加学生数の少なさが挙げられた。これには、認知度の低さや広報活動の不足も関係していると思われるが、1番の問題はキャンパスカンファレンスに参加することのメリットが見出せないことにあると思われる。

そのため、今後の課題として、どのようにして発表された各グループのアイディアを具現化するかという問題がある。今後のキャンパスカンファレンスで出されたアイディアが学生自身のメリットとしてフィードバックされることができれば、大学生活の更なる充実とともに、SCPの活動の幅を広げることができるのではないかと考える。



新入生歓迎イベント

メイン担当：歯 SCP

【実施内容】

中央食堂の2階(下の部分)の机とイスを借り、お菓子やジュースを飲みながら新入生の大学への不安や困っていること、初めての一人暮らしでの悩みごとなどを聞きアドバイスし、早く大学生活へ慣れてもらい素敵な学校生活のスタートしてもらうために行った。

また先輩達や他学部との交流はもちろんのこと、一週間後にある新入生宿泊オリエンテーションの前にクラスメイトと仲良くなってもらうために行った。

【反省点】

予想よりも多くの新入生が参加してくれスタッフの人数が足りなかったり、2年生以上の学年は授業があり話を聞きたくても先輩がいなくて聞けない学部やもっと話を聞きたいのに聞けないということがあったりした。(あいの里キャンパス)

中央食堂の机やイスなどの把握のために、わかりやすい全体写真を撮ることが必要である。今回は写真を撮ったものもわかりづらくイベント終了後の後片付けでとても困ってしまった。

平成 24 年度チャリティーバザー

【「東日本大震災支援チャリティーバザー」開催趣旨】

東日本大震災で被災された方々のための支援活動として在学生や卒業生、街の方々の協力を得て本を無償で集めて販売し、得た収益を震災支援に使うことを目的とし、さらに学生間の交流、地域間の交流の場として本イベントを開催した。

【開催概要】

日時：2012 年 4 月 7 日(土)、8 日(日) 14:00～17:00

4 月 13 日(金) 17:00～19:00

4 月 14 日(土)、15 日(日) 14:00～17:00

会場：当別ふれあい倉庫（多目的ホールまたはカルチャーホール）

主催：北海道医療大学 SCP

共催：当別アパート組合

後援：当別町新産業活性化センター

企画：書籍の販売および学生間、地域間での交流

【結果】

①売上金

(円)

	薬・看福	歯	心理・一般	募金	計
4 月 7 日	75,900	63,300	13,500	725	153,425
4 月 8 日	41,700	0	1,100	118	42,918
4 月 13 日	81,800			2,105	83,905
4 月 14 日	3,400	7,300	2,700	2,150	15,550
4 月 15 日	5,500	14,000	4,100	2,100	25,700
計					321,498

② 必要経費

内 容	金 額
会場使用料（５日分）	4,800
保健所申請代（二週間分）	4,400
カフェ同好会経費	7,500
植物研究部経費	1,751
当別ブランデリ（＊）	0
計	18,451

＊当別ブランデリについては当別町新産業活性化センターに経費 22,510 円分を後援していただいた。



学生との意見交換(掲示板)

メイン担当：歯 SCP

【 実施内容 】

SCP 室前にある掲示板(コルクボード)を使い学生との意見交換を行う。

(下図参照)

季節やイベントではその時々に合わせて模造紙を使いみんな(学生)の予定などを聞き、交流した。

【反省点】

学生から意見を書いてもらったのに確認が遅れてしまったり、回答を考えるのに時間がかかってしまったりした。また、曜日を振り分けて確認する人を決めたが部活動やサークル・アルバイトなどで急いで帰り忘れてしまうことが多々あった。

SCP への意見・要望何でもお待ちしております!!					あなたの声で学校が変わる!!
日付	意見・要望・フリースペース	SCP 確認	回答	納簿 担当	

第4期 S C P (Student Campus President) 活動報告

月 日		摘 要
	14日(木)	・ 当別 Brandeli' 認証評価委員会へ委員として参加
7月	26日(火)	・ 2011SCP選挙の実施（歯・看護福祉・心理科学部）
	31日(日)	・ 東日本大震災募金箱の撤収（義援金総額82万7538円）
8月	4日(木)	・ 当別 Brandeli' 認証評価委員会 活動参加
	9日(火)	・ 2011SCP選挙の実施（薬学部）
	3日(土)	・ FDネットワーク”つばさ”学生FD会議参加（於山形大学）
9月	14日(水)	・ 2011SCP会議（第1回）開催 ※以降2週に1回のペースで実施
	22日(木)	・ 2011SCP任命式 学長より任命状、プレザーの授与
	13日(木)	・ あいの里食堂 食堂業者と今後の改善について打合せ
10月	25日(火)	・ 平成23年度第2回環境保全小委員会 参加
	26日(水)	・ あいの里食堂 食堂業者と打合せ ・ 丸善（当別キャンパス）と意見交換
	28日(金)	・ 当別 Brandeli' 認証評価委員会 活動参加
	7日(月)	・ あいの里食堂新メニュー等追加 ・ あいの里キャンパス意見箱設置、ホワイトボード設置
	8日(火)	・ 大学の財産を活かしたまちづくり推進事業 第1回ディスカッション参加
11月	17日(木)	・ 大学の財産を活かしたまちづくり推進事業 プレセミナー参加
	18日(金)	・ 当別アパート組合「北海道医療大学との懇談会」参加
	27日(日)	・ 震災支援団体みちのく会主催イベント参加
	30日(水)	・ 当別住宅情報誌への S C P 便りの掲載文の作成提出
	9日(金)	・ 大学の財産を活かしたまちづくり推進事業 第2回ディスカッション参加
12月	19日(月)	・ 薬物乱用防止キャンペーン F M コメント収録
	22日(木)	・ 当別プレシャスネットへの参加 ・ より良い当別町についてのディスカッション 参加
	7日(火)	・ 東日本大震災チャリティー打合せ （当別町商工会）
2月	11日(土)	・ 学生 F D のイベント「054Time!～学生交流会 in 札幌大学」参加
	24日(金)	・ 「学生FDサミット2012冬」参加（追手門学院大学）

第4期 S C P (Student Campus President) 活動報告

[illegible]

北海道医療大学 Student Campus President

第 4 期（2011）活動報告

発 行 北海道医療大学 Student Campus President

〒061-0293 北海道石狩郡当別町金沢 1757

電話 (0133) 23-1095

FAX (0133) 23-1341

URL <http://scp.hoku-iryo-u.ac.jp/>

E-mail shien@hoku-iryo-u.ac.jp

事務所管 北海道医療大学学務部学生支援課

発 行 日 2012 年 10 月 1 日

